

受理年月日	平成26年12月19日	付託年月日	平成26年12月24日	所管委員会	第4委員会
番号	26年請願第27号				
件名	西九州自動車道周船寺インターのフルインター化について				
請願者	西区西浦1096 福岡市西区西部6校区代表者連絡協議会 会長 柴田 敏昭 外5人				
紹介議員	富永(計)、今林、川上(陽)、川上(晋)、妹尾、大原、福田、飯盛、おぼた、打越、大森、伊藤、稲員、南原、津田、阿部(真)、池田、川辺、楠、篠原、高木、古川、尾花、松野、黒子、石田、渡辺、鬼塚、藤本、笠、国分、水城、平畑、三角、浜崎、熊谷、綿貫、中山、宮本、江藤、栃木、三原、高山、富永(周)、橋田				
分割付託	第5委員会 (26年第28号)				
要旨	<p>西区西部地区(西部出張所管内の今宿、玄洋、周船寺、元岡、今津、北崎の6校区)は、近年、急速に人口が増大し、それに比例して車両交通量も増大し続けています。とりわけ、国道202号線・谷交差点並びに今宿交差点は日常的・恒常的に渋滞しており、特に朝晩並びに休日はあきれるほどの状態となっています。加えて、今後、九大伊都キャンパスへの学部移転が進めば、教職員・学生の増加が見込まれ、交通量はさらに増大していくことは避けられません。</p> <p>このことは、谷交差点・今宿交差点付近の渋滞がさらに激化することを意味します。現在でも朝晩のラッシュ時には、谷交差点・今宿交差点の渋滞は周辺道路にまで波及し始めており、これがさらに悪化すれば、救急車など緊急車両の出動時間への悪影響すら懸念されます。これは市民生活への脅威と言っても過言ではありません。</p> <p>私たちは、今宿地区の渋滞が顕著になってきたこともあり、おとし、西区土木第2課に対し「渋滞緩和策の早急な検討」を強く要望しました。幸い、西区土木第2課もこの要望を受け、直ちに、当該地区内の国道202号線、旧国道202号線の交通量調査に着手しました。その結果と分析によると、現在の車両交通量は「西区西部地区と福岡市中心部を結ぶ国道202号線、旧国道202号線、西九州道路・都市高速道路の3本で十分賄える量であり、3本を有効活用すれば渋滞は大幅に緩和できる」とのことでした。</p> <p>問題は、その有効活用方法です。2本の国道は整備済みですから今以上の交通量には耐えられません。残された道は、都市高速道路しかありません。そのためには、都市高速道路への車両誘導策が絶対不可欠となります。その方策がなければ、有効活用は、絵に描いた餅にすぎません。</p> <p>改めて言うまでもなく、谷交差点・今宿交差点渋滞の最大の原因は、今宿地区(今宿校区、玄洋校区)以西よりの車両の急増にあります。言葉をかえれば、今宿地区以西と都心を往復する車両を周船寺インターに誘導できれば、両交差点の渋滞は相当程度緩和できるわけです。そのためには、片側しか利用できない周船寺インターのフルインター化が絶対に不可欠です。もし、これが実現できれば、九大へのアクセスも飛躍的に向上します。</p> <p>よって、以下の事項を請願します。</p> <p>1. 西九州自動車道周船寺インターをフルインター化すること。</p>				
審査年月日	平成 年 月 日	結 果	委員会 平成 年 月 日		
	平成 年 月 日		本会議 平成 年 月 日		
	平成 年 月 日				

平成26年12月19日

福岡市議会議長  
森 英鷹 様

請願者 住所〒819-0202 福岡市西区西浦1096

氏名 福岡市西区西部6校区代表者連絡協議会  
会長 柴田 敏昭 ( )  
(北崎校区自治協議会会長)

外 5 人

〒819-0165 福岡市西区今津7-4  
今津校区自治協議会 会長 大齒 修司 ( )

〒819-0371 福岡市西区飯氏2-6-1-4  
周船寺校区自治協議会 会長 大谷 善博 ( )

〒819-0167 福岡市西区今宿2丁目1-7  
玄洋校区自治協議会 会長 河野 宏康 ( )

〒819-0161 福岡市西区今宿東3丁目30-20  
今宿校区自治協議会 会長 平方 芳伀 ( )

〒819-0383 福岡市西区田尻6-1-5  
元岡校区自治協議会 会長 藤野 忠勝 ( )

## 請願の趣旨

西区西部地区（西部出張所管内の今宿、玄洋、周船寺、元岡、今津、北崎の6校区）は、九州大学の移転、いくつもの大型区画整理事業によりこの数年の間に市街化が進むとともに著しく人口が増加しております。

これに伴い、当初から予想されておりましたとおり、地区の東西を結ぶ大動脈ともいべき国道202号線並びに旧国道202号線ともに慢性的な交通渋滞に陥っております。この状況は、地域住民にとっても耐え難いものであり、早急な解決策を講じていただきたいと存じます。

そこで、西部6校区自治協議会として下記2点について、請願理由を添えて、請願申し上げます。

## 請願事項

- 1 西九州自動車道・周船寺インターのフルインター化
- 2 同自動車道の福岡市内区間の無料化

## 請願理由

### 1 周船寺インターのフルインター化

西区西部地区は、近年、急速に人口が増大し、それに比例して車輛交通量も増大し続けております。とりわけ、国道 202 号線・谷交差点並びに今宿交差点は日常的・恒常的に渋滞しており、特に朝晩並びに休日はあきれるほどの状態となっております。加えて、今後、九大伊都キャンパスへの学部移転が進めば、教職員・学生の増加が見込まれ、交通量はさらに増大していくことは避けられません。

このことは、谷交差点・今宿交差点付近の渋滞がさらに激化することを意味します。現在でも朝晩のラッシュ時には、谷交差点・今宿交差点の渋滞は周辺道路にまで波及し始めており、これがさらに悪化すれば、救急車など緊急車輛の出動時間への悪影響すら懸念されます。これは市民生活への脅威と言っても過言ではありません。

私どもは、今宿地区の渋滞が顕著になってきたこともあり、一昨年、西区役所土木 2 課に対し「渋滞緩和策の早急な検討」を強く要望いたしました。幸い、西区土木 2 課も私どもの要望を受け、直ちに、当該地区内の国道 202 号線、旧国道 202 号線の交通量調査に着手されました。その結果と分析によりますと、現在の車輛交通量は「西区西部地区と福岡市中心部を結ぶ国道 202 号線、旧国道 202 号線、西九州道路・都市高速道路の 3 本で十分まかなえる量であり、3 本を有効活用すれば渋滞は大幅に緩和できる」とのことでした。

問題は、その有効活用方法であります。2 本の国道は整備済みですから今以上の交通量には耐えられません。残された道は、都市高速道路しかありません。そのためには、都市高速道路への車輛誘導策が絶対不可欠となります。その方策がなければ、有効活用は、絵に描いた餅にすぎません。

改めて申し上げるまでもなく、谷交差点、今宿交差点渋滞の最大の原因は、今宿地区（今宿校区、玄洋校区）以西よりの車輛の急増にあります。言葉を換えれば、今宿地区以西と都心を往復する車輛を周船寺インターに誘導できれば、両交差点の渋滞は相当程度緩和できるわけです。そのためには、片側しか利用できない周船寺インターのフルインター化が絶対に不可欠です。もし、これが実現できれば、九大へのアクセスも飛躍的に向上されます。

## 2 西九州自動車道の福岡市内区間の無料化

都市高速への誘導策としては、もう一つ、西九州自動車道の福岡市内区間の無料化が挙げられます。ご承知の如く、私どもは、これまでも福重インターから徴収される高速料金の無料化を要望してきました。これまでは、どちらかといえば経済的要因あるいは交通量増大の推測を前提にした要望でありましたが、今回は、現実の渋滞とそれに伴う生活環境悪化という状況からの切実な要望であります。

事業主体が異なる道路であることなど実現には大きな障壁があるかと存じますが、何卒、ご検討の上、採択いただきますようお願い申し上げます。

以上